

4. 関連研究の最新動向

ヒートアイランド現象による影響に関連する多くの分野で精力的に研究が進んでいる。ここでは、「健康影響」、「生態影響」と集中豪雨や大気汚染などの「気象」の分野について9名の有識者より最新の研究状況について報告いただき、本調査検討委員との討議を行った。その結果、現状で解明されていることと今後の課題として残されていることなど、当該分野の最新の状況を整理することができた。

ヒアリング項目、有識者名（所属）は次の通りである。

<健康影響>

- 1) 暑熱環境の健康への影響 - 各種疾患の発症状況の解析
須藤 千春（名古屋大学医学研究科 助教授）
- 2) ヒートアイランド現象と健康影響 - 医学気象予報の観点から
福岡 義隆（立正大学地球環境科学部 教授）
- 3) 我が国における熱中症の発生実態
中井 誠一（京都女子大学家政学部 教授）
- 4) ヒートアイランド現象と節足動物媒介性ウイルス感染症
高崎 智彦（国立感染症研究所ウイルス第1部）
- 5) 気候変化がウイルス媒介蚊の分布、生理、生態に与える影響
小林 睦生（国立感染症研究所昆虫医科学部 部長）

<生態影響>

- 6) 暖冬化によるフェノロジー（生物季節）の変化
萩原 信介（国立科学博物館附属自然教育園自然保護研究係 主任研究官）

<気象変化等>

- 7) ヒートアイランド現象と集中豪雨
小林 文明（防衛大学校応用科学群地球海洋学科 助教授）
- 8) ヒートアイランド現象と東京湾の水温長期変動及びその影響
安藤 晴夫（東京都環境科学研究所基盤研究部）
- 9) ヒートアイランド現象と大気汚染
若松 伸司（国立環境研究所 PM2.5・DEP 研究プロジェクト・リーダー）

以下に、各ヒアリング結果について、テーマについて、講演の概要、ヒートアイランド現象との係わり（検討会での委員の発言や討議を含む）について整理した。